

### 3. 顕微鏡検査のプロ「臨床顕微鏡検査師」養成講座

本講座は、臨床検査（病理検査）での顕微鏡使用歴が数年以下で、顕微鏡検査の上位資格（二級臨床検査士や細胞検査士）を目指す臨床検査技師を対象とし、顕微鏡操作、標本作製・観察および入門的な細胞診などの実習、講義、討論を通じて、顕微鏡検査について正しい知識と技術を備えたプロフェッショナル、「臨床顕微鏡検査師」を養成することを目的としています。臨床現場の顕微鏡検査では対象が病理組織・細胞、尿沈渣、血液、微生物など様々であることを踏まえ、履修者が自身のニーズと関心に応じた組合せで学べるよう、複数の選択必修科目を設けています。また、病理以外の検査部門に属しつつ細胞検査士を目指す履修者が、必要に応じて病理学・病理検査学を学び直せるような自由選択科目も用意しており、病理の実習・講義では、上位資格の試験に出題されるにも関わらず臨床現場でほとんど経験されない染色法を重点的に取り上げ、上位資格の取得を支援します。

#### 目指す獲得スキル

- ・顕微鏡の仕組みを踏まえた正しい操作法
- ・病理、尿沈渣、血液、微生物の顕微鏡検査についての知識と検査技術
- ・Auramine-rhodamine 法、Bodian 染色、Feulgen 染色、Weigert 染色などの顕微鏡標本作製技術
- ・上記の標本の顕微鏡像についての知識
- ・免疫組織化学染色の抗体ごとの染色パターン（抗原の細胞内局在）についての知識
- ・顕微鏡標本の正常像と異常像についての知識
- ・細胞診の初步的な知識と技能

#### プログラムの特徴

- ・1回 100 分授業、1科目につき指定授業回に参加、全 11 科目(総授業時数 133 時間)より 5 科目以上（合計 80 時間以上）を選択
- ・昼夜開講、オンライン受講、集中講義
- ・プログラム修了者は、本学独自の認定資格である「臨床顕微鏡検査師」に認定

#### 対象者

臨床検査技師であって、顕微鏡検査の上位資格（二級臨床検査士や細胞検査士）を目指す者

#### 修了要件

履修した全ての科目に出席し、確認テストまたは課題や作製標本（確認テスト等）で基準評価以上の場合に合格とする。

※プログラムは、以下をすべて満たした場合に、修了とする。

- ①必修科目（3科目）を全て履修し合格
- ②選択必修科目（5科目）のうち 2科目以上の合格
- ③自由選択科目（3科目）

上記、①②③を合わせて履修し、合格した科目の授業時数合計が 80 時間以上。



科目名・担当教員		授業回数 時間数	開講期間	曜日・時限 (※2025年度参考)	開講形態	
1	必修	<a href="#">病因病態情報解析学特論</a> [山田哲夫]	8回 13時間	2027.4–2027.9	月曜日6・7限 (18:30–21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
2	必修	<a href="#">病因病態情報解析学実験</a> [山田哲夫]	6回 10時間	2026.9–2027.3	月曜日6・7限 (18:30–21:55)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
3	必修	<a href="#">病理検査学Ⅰ</a> [木下真由美]	10回 17時間	2027.4–2027.9	火曜日2限(10:50–12:30) 水曜日3限(13:20–15:00)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
4	選択必修	<a href="#">臨床検査管理情報解析学特論</a> [石井利明]	3回 5時間	2027.4–2027.9	月曜日1・2限 (9:00–12:30)	対面 (オンライン不可)
5	選択必修	<a href="#">臨床検査管理情報解析学実験</a> [石井利明]	3回 5時間	2026.9–2027.3	金曜日3・4限 (13:20–16:50)	対面 (オンライン不可)
6	選択必修	<a href="#">感染制御検査情報解析学特論</a> [眞野容子]	6回 10時間	2027.4–2027.9	火曜日1・2限 (9:00–12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
7	選択必修	<a href="#">血液検査学実習Ⅰ</a> [藤本和実]	6回 10時間	2026.9–2027.3	【集中講義9月第4週】 月火水木金3・4・5限 (13:20–18:40)	対面 ※シラバス授業回7.8.9 のみオンライン(ライバ) 応相談
8	選択必修	<a href="#">解剖学実習</a> [山田哲夫・木下真由美]	13.5回 22.5時間	2026.9–2027.3	金曜日3・4限 (13:20–16:50)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
9	自由選択	<a href="#">病理検査学実習</a> [山田哲夫・木下真由美]	6回 10時間	2026.9–2027.3	【集中講義9月第2・3週】 月火水木金3・4・5限 (13:20–18:40)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
10	自由選択	<a href="#">病理検査学Ⅱ</a> [山田哲夫・木下真由美]	4回 7時間	2026.9–2027.3	【変則集中講義】 金曜日1限(9:00–10:40) 金曜日2限(10:50–12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)
11	自由選択	<a href="#">病理学</a> [山田哲夫]	13.5回 22.5時間	2026.9–2027.3	月曜日2限 (10:50–12:30)	ハイフレックス型授業 (対面・オンライン選択可)

※全科目、指定授業回以外の授業を受講することはできません。

### 授業時間割について

本講座の授業時間割は**現在調整中**です。記載の曜日・時限は2025年度の実績を参考に掲載しています。

募集要項に掲載の曜日・時限は、講義全体の開講日程を示したもので、履修証明プログラムで受講する科目は、このうち一部の授業となります(一部科目を除く)。該当する授業回の日程は、調整完了後、入学手続きが終了した時点で正式にご案内いたします。